

<p style="text-align: center;">ドイツ文化論 I (German Culture I) [Deutsche Kultur I]</p>		<p style="text-align: center;">1 年 ・ 前期 ・ 2 単位 ・ 選択必修 3 専攻共通 ・ 担当 廣瀬 ゆう子</p>
<p>〔準学士課程(本科 1-5 年) 学習教育目標〕</p>	<p>〔システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標〕</p> <p style="text-align: center;">A-1 (70%)、C-2 (30%)</p>	<p>〔JABEE 基準〕</p> <p style="text-align: center;">a, f</p>
<p>〔講義の目的〕</p> <p>スイスはドイツ語圏の国のひとつですが、ドイツに比べると普段この国について見聞きする機会は限られていると思います。また、日本では牧歌的なイメージの強いスイスですが、このイメージにはスイスの女流作家シュペーリの『ハイジ』が大きく関わっているのではないのでしょうか。この講義ではスイスの文化や歴史を概観しスイスの実像を探りつつ、『ハイジ』がなぜスイスの国民的児童文学ともいわれているのか、なぜ日本においても親しまれているのかを考えてみたいと思います。</p>		
<p>〔講義の概要〕</p> <p>講義形式が基本ですが、スイスや『ハイジ』に関する文献や資料、アニメーションや映画といった映像作品を通じて理解を深めたうえで、興味を持ったテーマに沿ったレポートを提出していただきます。</p>		
<p>〔履修上の留意点〕</p> <p>講義への積極的な姿勢を重視、評価します。ドイツ語の知識については問いません。</p>		
<p>〔到達目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 19 世紀中ごろから現代にかけてのスイスの文化・歴史への理解。 ・ 「自然描写」 だけではない『ハイジ』 のもつ多様性への理解 		
<p>〔評価方法〕</p> <p>提出物 (50%)、授業での取り組み・積極性〔発言の有無、回数〕(50%)</p>		
<p>〔教科書・補助教材・参考書〕</p> <p>教科書は使用しません。講義中に使用する文献や映像はこちらが準備、配布します。</p>		
<p>〔関連科目・学習指針〕</p>		

講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己評価*
第1週	ガイダンス	講義の概要、講義予定の説明 スイスについての簡単な紹介	
第2週	スイスの歴史	スイスの歴史（特に19世紀から現代）（概観） 歴史におけるスイスと日本との接点について	
第3週	スイスの文化	近現代のスイスの絵画芸術について	
第4週	スイスの自然	「アルプス」についての考察 スイスと自然との関わりについて	
第5週	児童文学	ヨーロッパ、特にドイツ語圏の児童文学の歴史（概観） 19世紀ヨーロッパにおける「子ども観」	
第6週	まとめ（1）	これまでのテーマの再確認 『ハイジ』への導入	
第7週	『ハイジ』概説	作者ヨハンナ・シュピーリの紹介 物語の概要と登場人物について	
第8週	『ハイジ』とキリスト教	シュピーリの宗教に対する考えについて紹介 『ハイジ』における宗教の扱い方について	
第9週	『ハイジ』と自然	シュピーリの自然に対する考えについて紹介 『ハイジ』における自然（特にアルプス）について	
第10週	「放蕩息子」のモチーフ	『ハイジ』にあらわれる「放蕩息子」のモチーフについて	
第11週	村の役割	19世紀後半のチューリヒとフランクフルトについて 自然（アルプス）と都会の間に置かれた村の役割について	
第12週	原作とアニメーション	アニメ『アルプスの少女ハイジ』について 内容についての考察・原作との比較	
第13週	原作と映画（1）	スイスで制作された『ハイジ』（1952年）について 内容の考察・原作との比較	
第14週	原作と映画（2）	イギリスで制作された『ハイジ』（2005年）について 内容の考察・原作との比較	
第15週	まとめ（2）	作品にまつわる他の問題とこれからの展望	

* 4：完全に理解した，3：ほぼ理解した，2：やや理解できた，1：ほとんど理解できなかった，0：まったく理解できなかった。
 （達成） （達成） （達成） （達成） （達成）